

ミスターにも食べしてほしい全国調査ランキング

「患者にやさしい病院!」言いい入院食編 ベスト15

「産婦人科では、出産後の方を対象に、フランス料理のフルコースを用意しています。一皿ずつ順番に出したり、気分だけでも味わってもらおうと、ワイングラスにミネラルウォーターを入れてお出ししています」(聖隷三方原病院)

入院食は「まずい、冷たい、(食事の時間がない)スれている」。そんなイメージが定着しているなか、食事のあり方を見直す病院が増えてきている。新しい基準で選んだ話題の病院ガイド『患者力』で選ぶいい病院(扶桑社の著者で医療ジャーナリストの伊藤幸也氏によると)、「食べることに悩むことは脳の活性化にもなる。たとえ流動食であっても、自分でもから食べ栄養を摂るのが大切です。脳梗塞で倒れた人でも、点滴ばかりで栄養を摂っていると、ベッドから離れられず

回復が遅れてしまう。病気を治すには早い離床が大事で、食事はその最も良いリハビリなのです」さて、この「入院食」に対する各病院の取り組みに焦点を当てて作成したのが、92ページの『入院食満足力ランキング』だ。評価の基準は次の五つ。①献立表がある②メニューを選択できる③陶器の器を使っている④ラーメン、カレーライス

がメニューにある⑤管理栄養士がベッドサイドまで訪問する——。入院したことのある人なら、どれも納得だろう。「味はもちろん、温かいものが出てくる、療養上問題ない患者にはラーメン・カレー・おにぎりなど患者の嗜好が強いものを選択肢として用意する。患者が食べたものを食べさせる。サービスが大切です」(伊藤氏)

そこで、本誌はランク位聖隷三方原病院を訪ねた。玄関の車寄せにホテルのドアマンのような女性がいる、患者を案内してくれることに驚く。この病院は、「食事は患者の生活を豊かにさせるとともに、食事そのものが医療になる」との考えに基づき、約40名の栄養士などからなるチームが栄養支援にあたる。フルセレクトメニュー方式を導入し、前日におらかじめマークシートで自分の好みの食事をリクエストするのだ。たとえば、肉料理が魚料理か、そして主食もごはん、パン、麺類のほか全かゆ、おにぎりも選択可能だ。追加料金を払えば特別食として、寿司、鰻、刺身なども、提携する専門店から届けてもらうことができる。

「もちろん病状によって制限はありますが、なかでも刺身やとろろ汁が人気です。患者自身が選んだ食事なので、食べ残しも少なくなりました。栄養が行き届き、結果的に治癒も早まっています」(管理栄養士・石野留子氏)

他にも「無農薬野菜、有精卵などを使い季節感のある郷土食を取り入れている」



▲聖隷三方原病院のフランス料理の前菜。フルコースでも650kcalと、低カロリーに抑えている

転載 日本経済新聞



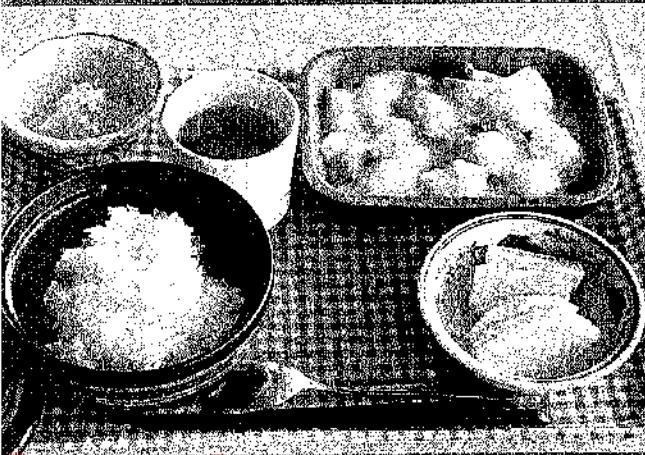
相良病院 (鹿児島県鹿児島市)

▶ 1日1回のペースで、1人1食を「1人1食」が、品揃えが豊富で、食卓の中心は洋食で、和食も人気です。個室の食事の準備は、スタッフが手配し、患者さんへの配慮が感じられます。



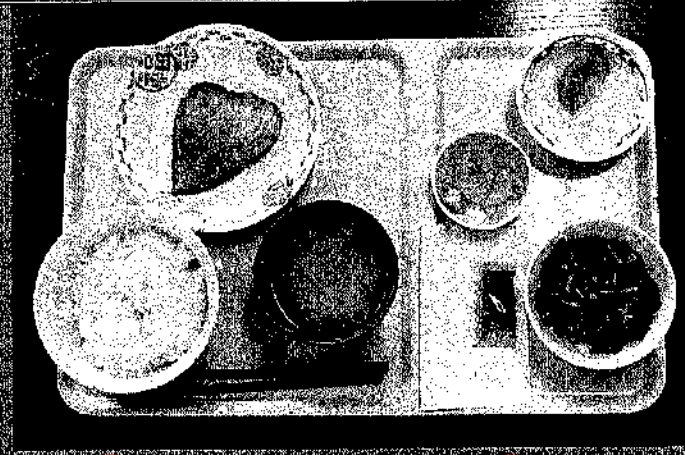
聖隷三方原病院 (静岡県浜松市)

▶ 日替りのメニューで、旬の食材を使った料理が、和食・洋食・中華・イタリアン・ベトナムの料理など、幅広く揃っています。アレルギー対応も充実しています。



五日市記念病院 (広島県広島市)

▶ 病院は家族の食生活をサポートし、手作りで、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



龜田メディカルセンター (千葉県鴨川市)

▶ 病院の味が、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



佐々総合病院 (東京都西東京市)

▶ 病院の味が、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



佐久総合病院 (長野県南佐久郡)

▶ 病院の味が、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



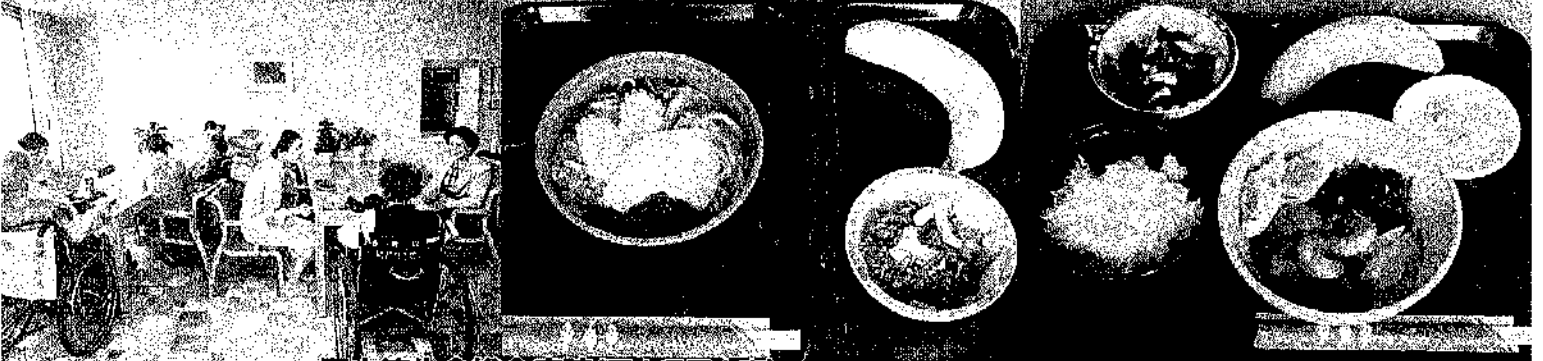
倉敷中央病院 (岡山県倉敷市)

▶ 病院の味が、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



菊名記念病院 (神奈川県横浜市)

▶ 病院の味が、お粥、お汁、お菓子、お茶など、患者さんへの配慮が感じられます。アレルギー対応も充実しています。



岡山清生会総合病院(岡山県岡山市)

●入院食満足ランキングベスト15●

| 順位 | 病院名 | 病院食の献立表がある(4) | 食事制限の範囲内でメニューを選択できる(4) | 患者の器を使用(2) | マインサーブ(ミニデザート)を常設(2) | 産科病棟(産科病棟)に常設(2) | 産科病棟(産科病棟)に常設(2) | 病院のコメント | 病院の所在地 |
|----|-----------------------------|---------------|------------------------|------------|----------------------|------------------|------------------|--|---------|
| 1 | 市立札幌病院 | 4 | 4 | 2 | 4 | 4 | 16 | 年4回、残菜調査やアンケートを実施する。人気の和風ステーキ、ホタテグラタンなどの選択メニューにより「全量喫食率」が大幅上昇 | 北海道札幌市 |
| 1 | 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院 | 4 | 4 | 2 | 4 | 4 | 16 | 食事を通して地域住民の疾病の予防と治療を行うという理念のもと、腫瘍患者などには退院後もケーダリングサービスを試験的に導入 | 静岡県浜松市 |
| 1 | 社会福祉法人 恩賜財団 福井県済生会病院 | 4 | 4 | 2 | 4 | 4 | 16 | 地産地消をモットーに、福井米、日本海の魚など、地場の食材を取り入れる。食に関するメッセージカードを添えて、一人一人の回復を支援 | 福井県福井市 |
| 2 | 医療法人社団清風会 五日市記念病院 | 4 | 4 | 2 | 3 | 4 | 17 | 患者の身長、体重、運動量や高血圧の有無などのデータに基づき、個別に適合する食事を提供。「NST」を編成し、栄養状態の悪い患者にも対応 | 広島県広島市 |
| 2 | 大津赤十字病院 | 4 | 4 | 1 | 4 | 4 | 17 | 「食事は治療の一環であり、回復促進には欠かせない」と、聞き取り調査や栄養士・調理師の意見交換をもとに1ヵ月サイクルの献立作りを行う | 滋賀県大津市 |
| 2 | 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター | 4 | 4 | 2 | 3 | 4 | 17 | 個々の患者の状態を把握し、安全で美味しい料理で病気の回復をサポートする。朝・昼食は2種類、夕食は4種類のメニューから選択が可能 | 千葉県鴨川市 |
| 2 | 医療法人財団 河北総合病院 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 諸事情によりコメントなし | 東京都杉並区 |
| 2 | 特別医療法人財団麗仙会 恵寿総合病院 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | システム変更中のためコメントなし | 石川県七尾市 |
| 2 | 特別医療法人博愛会 相良病院 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 減糖米や有機産物を使った和・洋・中の幅広いメニューが目指すのは「美味しい食事」。手作り菓子でティーサービスやサラダバーも用意 | 徳島県徳島市 |
| 2 | 諏訪中央病院 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 無農薬野菜や地元の新鮮な素材で、安全で美味しい食事を過温で提供する。栄養士やスタッフと患者が直接話し、協力する姿勢を大切にする | 長野県茅野市 |
| 2 | 社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会中津病院 | 4 | 4 | 2 | 3 | 4 | 17 | 患者の回復力を高め治療の目的を果たすため、安全で見た目に配慮した四季の献立。産科では祝い膳や特別料理も。選択食の天ぷらには抹茶塩が | 大阪府大阪市 |
| 2 | 那覇市立病院 | 4 | 4 | 1 | 4 | 4 | 17 | 医食同源の考えで、治療の一環として食事を考える。保温の保溫食器を使用。選択メニューの人気はやはり地元琉球料理で、豚汁、角煮など | 沖縄県那覇市 |
| 2 | 公立能登総合病院 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 病状に配慮しながら美味しい食事を心がける。米はコシヒカリを使用するなど地元の食材を。常食、軟食、学膳食、産後食で毎食選択食を実施 | 石川県七尾市 |
| 2 | 医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 地元の九谷焼の器で供される。食事形態も刻み食、あら刻み食、一口大食、嚥下食、とろみ食と豊富。糖尿病患者のためのバイキングも用意 | 石川県小松市 |
| 2 | 横浜市立大学医学部附属 市民総合医療センター | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 17 | 患者のストレスを癒し、食事でも生活に変化を与える。既製品や加工品をなるべく使わない。一般食でも幼児から食欲旺盛者まで患者の要望に対応 | 神奈川県横浜市 |

「メニュー」にこだわらず、目でも舌でも楽しめる食卓にこだわりたい。目でも舌でも楽しめる食卓にこだわりたい。目でも舌でも楽しめる食卓にこだわりたい。

（佐久総合病院）、産科ではホテルの料理も選べる（倉敷中央病院）、「温冷配膳車で適時配膳する（大津赤十字病院）」など、様々な工夫を凝らしている。また医療界で注目されているのが「NST」（栄養サポートチーム）。栄養士、

医師、看護師、言語療法士、薬剤師、歯科衛生士などがチームとなって患者一人一人に対し栄養支援を行うシステムで、聖隷三方原病院、亀田メディカルセンター、五日市記念病院などに設置されている。実際、個々の患者の食事内容を見直

すことで、患者の平均在院日数が減ったというデータもある。高度な技術を持つのはもちろん「患者のため」を最優先に考え、「医療はサービス」の精神を持った病院こそが、まさに「患者にやさしい病院」なのだ。

※ 「患者力」で選ぶいい病院。より一部抜粋し、本誌で取材。各項目の()内は最高点、計18点満点。同順位の場合は50音順 PHOTO 伊藤幸也 川柳まさ裕(P.90、P.91右上1点)